

< 第 13 期 >

中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



烏帽子岳から見た雪化粧の南アルプス南部（当社社有林）

特種東海製紙株式会社

TOKUSHU TOKAI PAPER CO., LTD.

証券コード 3708





代表取締役社長
松田 裕司

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、今年の度重なる台風・豪雨による被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、ここに当社第13期中間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の報告書をお届け申し上げます。

第13期上半期は、2017年度から開始した第四次中期経営計画「NEXT10～次なる成長 次なる挑戦～」の最終年度となり引き続き基盤強化と変革に努めております。

当社の研究開発テーマ「NaSFA」に沿った製品開発におきましては、高機能性シートや偽造防止技術分野をはじめ各種製品開発が進行中です。偽造防止技術分野につきましては、2019年度、2020年度での製品化を目指し、セキュリティ関係の国際会議で当社技術を発表し認知を高めるなど、海外展開の推進に向けた積極的な活動も行っています。

また、環境関連分野として、当社の保有する南アルプス社有林の広大な自然の活用と資源の再活用による循環型社会への貢献を目的に環境関連事業を起ち上げました。「自然を守り、自然を活かす」を基本テーマとし、自然環境を活用したウイスキー製造や従来行ってきたリサイクル事業の拡張、RPF燃料の拡販などを目指し、製紙業のみならず成長の可能性がある事業への取り組みを進めています。

当第2四半期の業績につきましては、昨年まで大きな影響を及ぼしていた古紙価格は引き続き安定基調であったものの、渇水による水力発電所への影響や台風・豪雨など自然災害による工事の遅れ、パルプ市況の悪化に伴う外部販売における数量減と価格の下落に伴う低価法評価減の計上など外部要因が大きく影響し、非常に厳しい経営環境が続いています。

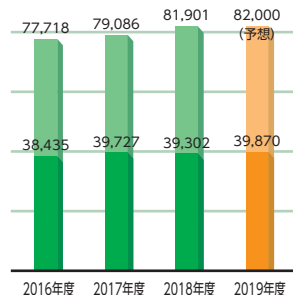
以上により、売上高39,870百万円、営業利益821百万円、経常利益2,075百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,290百万円と増収減益を計上しました。

以上を踏まえ、「基盤事業の強化・変革」および今後を見据えた「成長戦略」の各諸施策について当社グループが一体感とスピード感を持って、引き続き第四次中期経営計画の推進に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

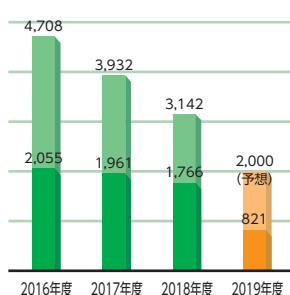
売上高

(単位：百万円)



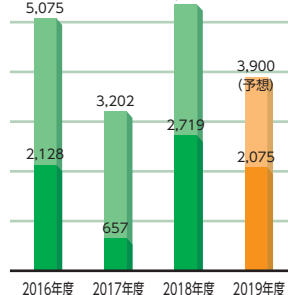
営業利益

(単位：百万円)



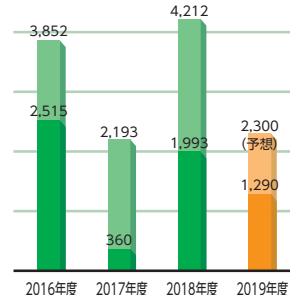
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



基盤事業の強化・変革

●産業素材事業

日本製紙(株)との提携に伴うシナジー追求は順調に進んでおり、段ボール原紙の生産においては、当社グループの新東海製紙(株)島田工場の高効率な生産体制により利益確保に大きく貢献しています。

また、2019年10月よりクラフト紙製造の一部を日本製紙(株)からの移管を行い、さらなる存在感の向上を見込んでいます。

●特殊素材事業

プレミアム商品券用紙の受注やガラス合紙の受注も好調でさらなる品質向上を目指しています。また、パッケージ分野などユーザーの新たな使用用途を想定し、30周年を迎えるファンシーペーパー「TANT」や「マーメイド」の増色を行い、新たな顧客層の獲得を目指しています。

●生活商品事業

ペーパータオルの強度や伸縮性など従来製品の品質向上や抗菌剤を用いた食品に使用可能な抗菌樹脂製品を近々発売予定です。また、ペーパータオルの外装用フィルム印刷のインキの変更やプラスチックから紙への対応の一環としてラミネート製品用途の薬品を変更するなど環境対応にも注力しています。

成長戦略

●海外展開

北京国際図書博覧会(BIBF)2019への出展など様々な用途・ユーザーごとの展示会に出展し、「和紙楽活 KAMI Lab.」ブランドの認知活動を積極的に行い、今期中にさらなる新製品の投入を目指しています。さらに、和紙楽活の強みを活かしヨーロッパへの展開も検討しています。

美術品などの保存に使用される保護紙の海外展開の検討を進めてきましたが、ここで台湾の代理店と提携することで台湾での影響力を強く拡販を図り、その他のアジア地域への展開も進めています。

●研究開発テーマ「NaSFA」

高機能性シート分野への挑戦をテーマに研究を進め、耐熱性・電気・電子分野用途の非セルロース系シートは2019年12月に、高強度・寸法安定性・ヒートシール性を持つ壁紙や機能性ワイパー等へ利用可能な合成繊維混抄紙は2020年度の発売を目指し開発を進めています。

偽造防止用紙の開発におきましては、既存の偽造防止技術を深化させた新たな偽造防止用紙の開発や国内初となる偽造防止技術を複数確立し、その一部をセキュリティ分野における国際カンファレンスで発表しました。新技術の提案により、当社の技術力のPRを行い、海外の顧客獲得を目指します。

※NaSFA (当社製品開発分野の頭文字をとった開発テーマ名)

Na (ナノテクノロジー)、S (セキュリティ)、F (フュージョン)、A (アート)

●ウイスキー事業の開始

南アルプス社有林内で、「井川蒸溜所」の建設が進んでおります。この井川蒸溜所は環境関連事業の一環として、井川社有林の天然水、気候、森林資源を活かしたウイスキーを製造いたします。昨今人気が高まっている国産ウイスキーは、蒸溜所の見学など観光事業との相乗効果も期待されます。当社が誇る24,000haという広大な井川の森で湧き出る天然水をウイスキーの仕込水として活用します。蒸溜所が位置するのは高度1,200m。国内で最も高い位置にありながら、冷涼多湿な気候はウイスキーの熟成に適した環境となっています。

井川蒸溜所では長期熟成にこだわった、本物のシングルモルトウイスキーをお届けするべく、これからも事業推進に努めてまいります。

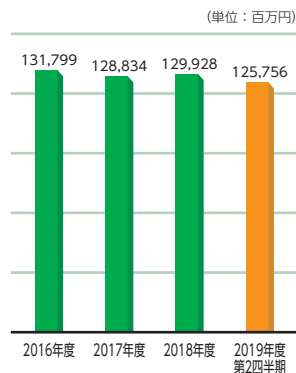


建設中の井川蒸溜所外観

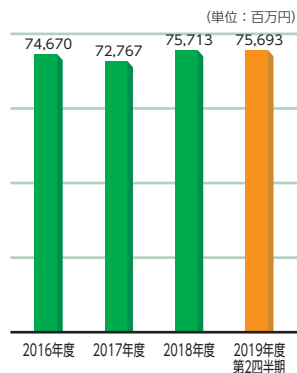


蒸留釜製造の様子

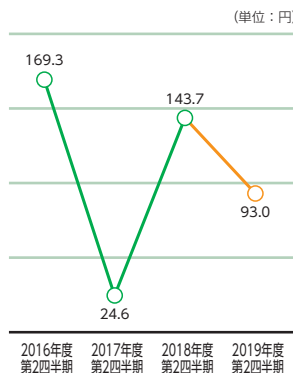
総資産



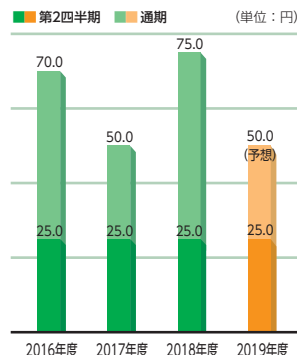
純資産



1株当たり四半期純利益



配当金の推移



(注) 1株当たり四半期純利益・配当金は、2016年10月1日実施の株式併合の影響を考慮したものです。

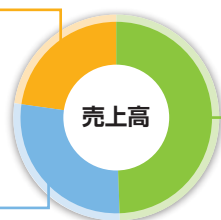
セグメント別構成比率

生活商品事業

22.6%
前年同期比 70.4%

特殊素材事業

27.7%
前年同期比 1.3%



産業素材事業

49.7%
前年同期比 1.0%

生活商品事業

22.9%
前年同期比 72.4%

特殊素材事業

45.6%
前年同期比 55.5%



産業素材事業

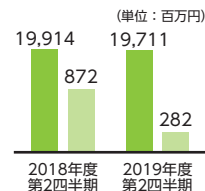
31.5%
前年同期比 67.6%

セグメントの概要

産業素材事業

- 日本製紙(株)との段ボール原紙およびクラフト紙事業に係る契約変更に伴い、新東海製紙(株)における調整損益の計上タイミングの変更、水力発電による売電事業が渇水の影響により大幅な減益、パルプの外販価格低下の影響等により、営業利益は前年同期を下回る。

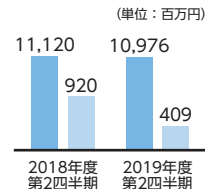
売上高/営業利益



特殊素材事業

- 特殊機能紙は、消費増税を受けて一部製品が採用され、販売数量・金額ともに前年同期を上回る。
- 特殊印刷用紙は、新製品を投入したが、厳しい市況の影響により販売数量・金額ともに前年同期を下回る。

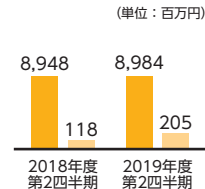
売上高/営業利益



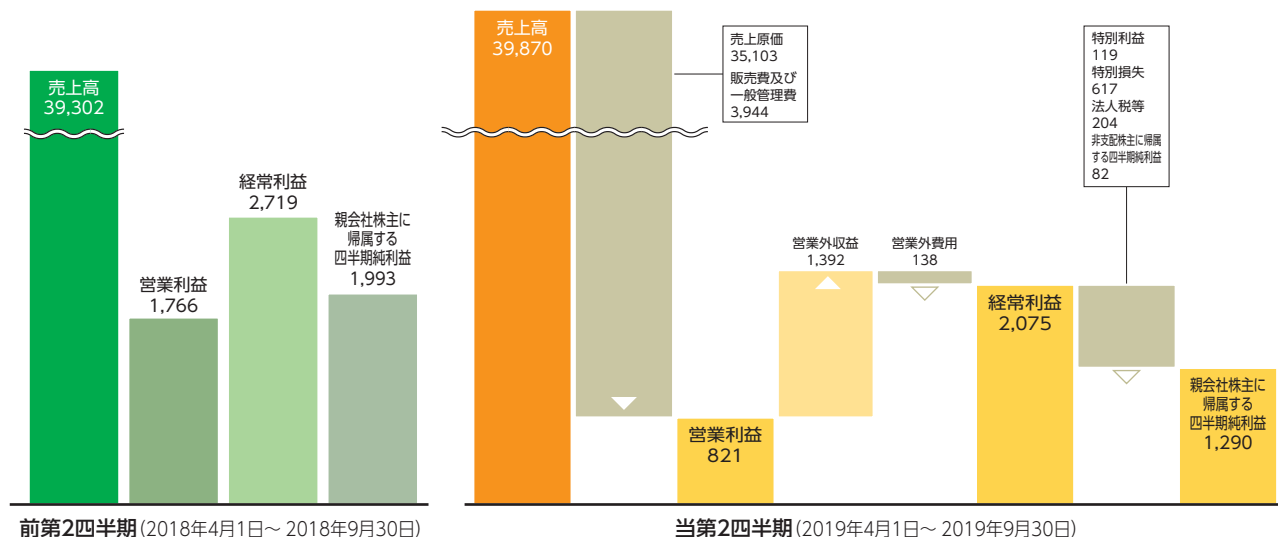
生活商品事業

- ペーパータオルは、原燃料高騰の影響を緩和するため販売価格への転嫁を進めた結果、販売数量が前年同期を下回る。
- トイレットペーパーは、販売数量が堅調に推移したとともに、販売価格が値上げ効果で前年同期を上回る。

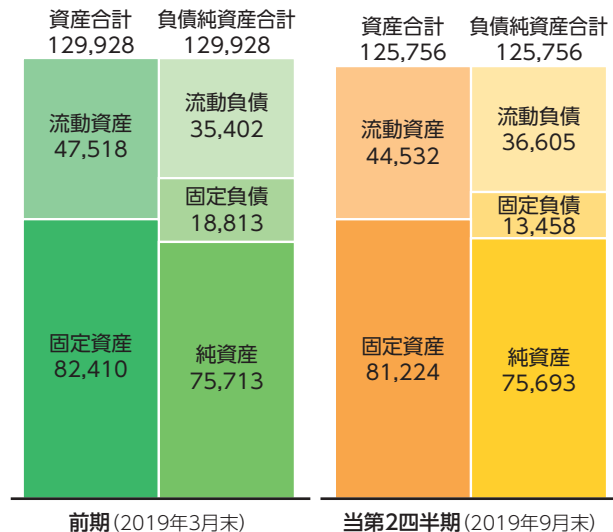
売上高/営業利益



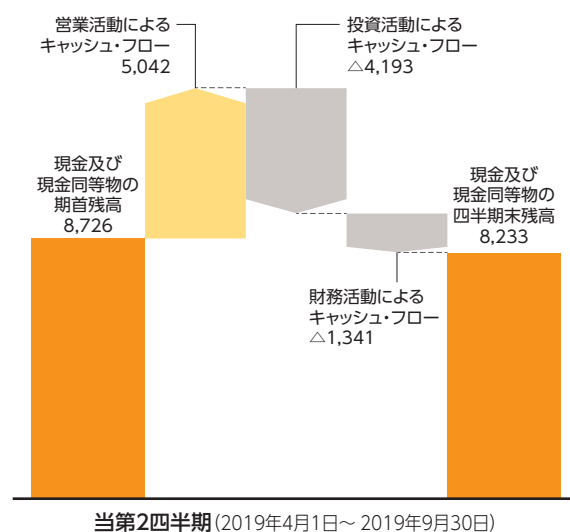
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



●ダイバーシティの推進

当社は「多様な人材が積極的・能動的に行動することにより持続的に成長する企業集団」を目指し、個々の能力を最大限に発揮できる環境を整えるため、ダイバーシティの推進に力を入れています。

具体的には、各事業所に「ダイバーシティ推進チーム」の担当者を配置し、各部門や労働組合と連携しながら様々な取り組みを実施しています。

今年度の取り組みとして、超高齢化社会と言われる時代をふまえ、仕事と介護の両立支援を目的としたセミナーを実施しています。各事業所に地域自治体から専門家を招聘し、公的制度や相談窓口、行政のサービスといった介護に直面した際に必要となる基本的な情報提供を行い、また、ダイバーシティ推進チームのメンバーが講師となって会社の支援制度について周知し、介護に対する不安の軽減を図っています。セミナーの実施前にはあらかじめアンケートによる意識調査を行い、従業員のニーズに合わせた情報提供を行いました。

当社の発展にとって労働力確保は重要な課題と捉え、今後も様々な施策を実施することにより、従業員が十分に能力を発揮しながら安心して働ける環境づくりを目指します。



ダイバーシティ推進チーム

●海外での展示会出展

2019年8月に中国・上海で開催された、世界で注目されている文化の一つであるZINEを中心とした「abcアートブックフェア」に出展しました。今後のデザイン界を担う層である10～30歳代の若手のクリエイターを中心とした来場者に対し、日本のファンシーペーパーの魅力をPRしました。現在、中国向けブランド「和紙楽活 KAMI Lab.」として販売している5種に続き、さらに、中国でのニーズの探索を行い新製品の投入も検討しつつ、引き続き中国市場での拡販を図ります。

※ZINEとは少数数の自費出版物

「和紙楽活 KAMI Lab.」(カミラボ)

ホームページアドレス <https://kami-lab.com/>



会場の様子

●第29回紙わざ大賞決定

2019年10月に第29回紙わざ大賞の審査会が行われ、354点の作品の中から「犬」が大賞に選ばれました。「犬」は、粘土と針金で胴体を成形し、その上にハサミで切った極細の手すき和紙の毛を1年かけて植えつけた作品です。



大賞受賞作品「犬」

11月26日より5日間、東京・有楽町駅前の東京交通会館で入賞作品展を開催しました。今後の展示会情報は紙わざ大賞ホームページまたはTwitterをご覧ください。

紙わざ大賞ホームページ

<https://www.tt-paper.co.jp/pam/kamiwaza/>

Twitter @kamiwazaaward



第13期中間配当金について

第13期中間配当金は、2019年11月12日開催の取締役会において、1株当たり25円をお支払いすることを決議し、2019年12月5日よりお支払いを開始させていただくことといたしました。

決議	2019年11月12日取締役会
株式の種類	普通株式
配当金の総額	347,238,325円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	25円
基準日	2019年9月30日
効力発生日	2019年12月5日



役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	社長執行役員	松田	裕司
取締役	専務執行役員	大島	一宏
取締役	常務執行役員	関根	常夫
取締役	常務執行役員	柳川	勝彦
取締役	執行役員	渡邊	克宏
取締役	執行役員	毛利	豊寿
取締役	執行役員	大沼	裕之
取締役	執行役員	佐野	倫明
取締役	(社外)	木村	実
取締役	(社外)	金澤	恭子
常勤監査役		河合	稔
監査役	(社外)	上田	廣美
監査役	(社外)	長坂	隆



会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	特種東海製紙株式会社
英文名	Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.
事業内容	紙類等の製造・加工・販売および子会社の経営管理等
資本金	11,485,200,000円
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（コード：3708）
設立年月日	2007年4月2日
本店	静岡県島田市市向島町4379番地
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番地1号
事業所	三島工場、岐阜工場



グループ企業 (2019年9月30日現在)

会社名	主な事業
新東海製紙株式会社	紙/パルプの製造・販売
特種東海マテリアルズ株式会社	製紙原料の仕入・販売等
株式会社特種東海フォレスト	土木・建築・造園・山林・観光事業他
株式会社レックス	廃棄物の収集、運搬、加工処理および売買
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業
株式会社TTトレーディング	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙、加工品等の販売
特種メーテル株式会社	特殊紙製造、医療用機能性シート、緩衝・保護包装紙の製造・販売
株式会社トライフ	ペーパータオル・ラミネート製品の製造・販売等
特種東海エコロジー株式会社	家庭紙(トイレットペーパー)の製造・販売
新東海ロジスティクス株式会社	構内作業業務・運送業

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711（通話料無料）
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

（上記は、特別口座に記録された株式に関する各種手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問い合わせください。）

公告方法 当社ホームページ上に掲載します。
<https://www.tt-paper.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主優待品のご案内

当社特製カレンダーの送付について

このたび、2019年9月30日現在の株主名簿で100株（1単位）以上を保有する株主様へ、日頃のご厚情への感謝のしるしとして、『特製カレンダー』をお送りさせていただきます。

このカレンダーには、山岳写真家として世界的に有名な白簾史朗氏が、南アルプスに広がる当社社有林を撮影した写真と当社製の高級印刷用紙、ファンシーペーパーをふんだんに使用しております。1年間を通じてご愛用いただければ幸いです。



単元未満株式買取りおよび買増し制度のご案内

単元未満株式（1～99株）につきましては、証券取引所での売買を行うことができませんが、当社では単元未満株式（1～99株）の買取りおよび買増し制度を実施しており、単元未満株式をご売却またはご購入することができます。

単元未満株式買取り制度

株主様がご所有する単元未満株式を株主様のご請求により、当社が買い取らせていただく制度です。

単元未満株式買増し制度

株主様がご所有する単元未満株式と合わせて1単位（100株）となるよう不足分の単元未満株式の買増しを当社にご請求いただく制度です。

お手続きについて

買取り請求（ご売却）、買増し請求（ご購入）に関するご相談、お問い合わせは、お取引の証券会社または左記の当社株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）までお申し出ください。



表紙写真：白簾史朗氏撮影
用紙：ミセスB-F
スーパーホワイト